

Q5: その他：時期、場所（基生研、遺伝研、CDB・・・）ホストの労力：宿泊手配、クレーム対応など何でも

1. 懇親会費が高かった
2. 内容が充実していました。普段聞きにいかないような演題（植物、ホヤ、、、）が聞けて、とても勉強になりました。また参加したいです。参加費無料で、むしろ申し訳ない気持ちがありました。時期は、このときがよいです（大学の業務が一段落しています）。
他の学会のように、コーヒーマーカーのコーヒーがあると嬉しいです。コンファレンスルーム用のコーヒーマーカーは無いのでしょうか？あるいはコンファレンスルームに、ドリップ式コーヒーの自販機を導入してくれればよいのにな、と思いました。
3. 時期は今くらいの12月の方が良いように思います。また、場所はどこでもよいです。基生研は東西から来やすい位置にありよかったですと思います。労力については、充分であったと思います。
4. 会の趣旨としては、できあがった仕事よりこれからの展望を議論したいということだったと思うが、できあがった仕事の発表をしている人も多かった。また、それもあつてか質疑応答の時間が減ってしまったのは残念。さらに、できあがった仕事の中には、非常に詳細まで詰めていて完成度が高いと思う反面、もう少し大きな視点で発生という分野にどのような貢献ができるのか、という点への議論がしにくくなったことが残念。これらは基本的には発表者の問題・考え次第であつて運営側の問題ということではないと思うが、あらかじめ趣旨をもう少し強調してもよかったですかもしれない（もちろん強調していたことは認識しているが、蓋をあけてみた様子だと今以上強調してもよいかもしれない）。
5. 皆様ご苦勞様でした。すてきな会合をサポートしていただきましてありがとうございました。
6. 年会在毎年いろいろなところで行われるので、このようなシンポジウムはある一定の場所（または2、3カ所）でも構わないかと思います。
7. 小林先生をはじめ、スタッフの方々のサポートが素晴らしかったです。また、オブザーバーの先生方の、先見性のある質問も有難かったです。もっと頑張って成果を出して、少しでも恩返しをできるようにしたいと思います。
8. ご苦勞様でした。質問がもう少し積極的にあつても良かった。それを促す仕掛けが必要でしょうか？
9. 今回は分生の翌週だったのがちょっと良かったです。10月-11月の学会がまばらな時にできると良いと思います。
10. ホストの方々はお疲れさまでした。
11. 人数の割に会場が広すぎた。もっと狭い会場の方が密に議論できると思う。スタッフの方々、本当にお疲れ様でした。ありがとうございます。
12. 参加者が交流できる機会がもう少し欲しかった。例えば、初日にも軽くアルコールを取りながらの交流会とか。